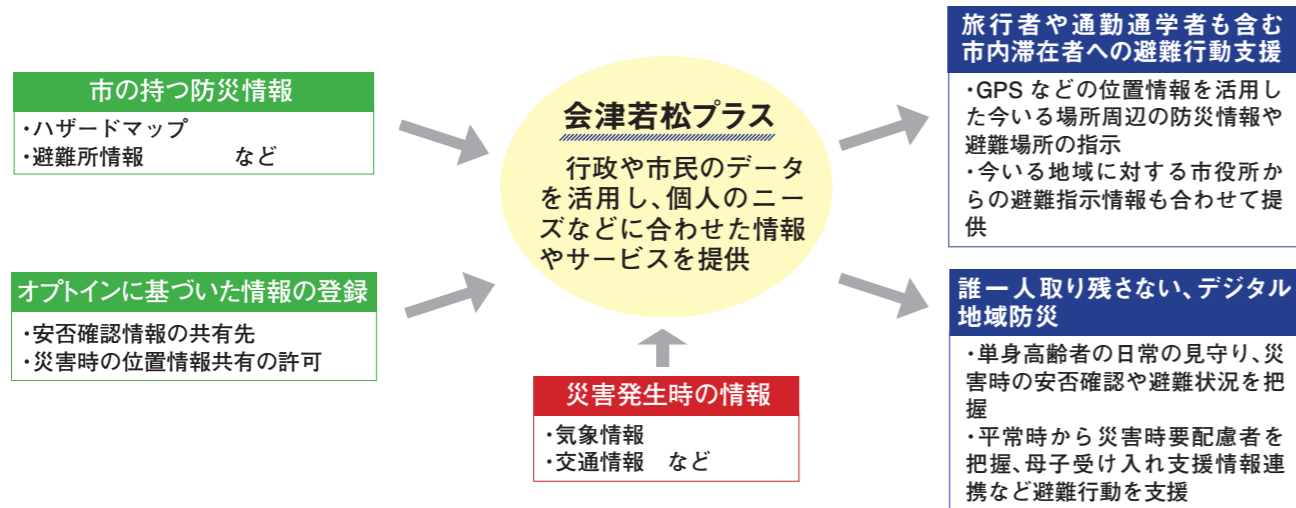
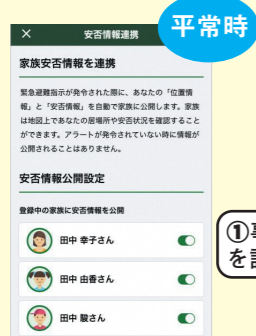


「命を守るデジタル防災(マイハザード)」のイメージ



【アプリでの操作イメージ】

1. 事前登録すれば、災害時に家族間や町内会で安否情報や位置情報を共有できる！



① 事前に自分の安否情報を誰に公開するかを設定



② ①で設定した人(家族や町内会など)の間で安否や位置情報が共有される！

2. 災害時にいる場所から近い避難所とそこまでのルートを教えてくれる！



① 事前に自宅や職場の近くの避難所を確認



② 移動手段に応じ表示されたルートに従い、避難所まで移動できる！

デジタル技術で災害時にも安全に



地域の防災活動をICTが後押しする「デジタル防災」に向けた取り組みを紹介します

旧年貢町町内会の皆さんとスマートシティAiCT入居企業との意見交換の様子

全国的な豪雨災害などの発生により、災害時にどのように身を守っていくのか、改めて考える機会が増えています。

今後は、より安全な暮らしを実現していくための重要な取り組みの一つとして、デジタル技術を活用した防災の仕組みを提案しています。この取り組みでは、オプトイン(本人の同意)に基づいて提供された位置情報や家族情報などを活用することで、情報提供にとどまらないリアルタイムでの安否確認や避難誘導など、一人ひとりにあった防災サービスの実現を目指しています。

ここでは、「スマートシティ会津若松」の発展・深化に向けて検討を進めている、スマートフォンの位置情報などを活用した「デジタル防災(マイハザード)」の取り組みと、メール配信サービスなどのICTを活用し、先進的に地域自主防災を進めている「旧年貢町町内会」の取り組みを紹介します。



デジタル防災(マイハザード)の表示イメージ

東日本大震災をきっかけに、町内会単位での自主防災の重要性を感じ、地区の防災マップの作成や防災倉庫の整備などに加えて、電子メールによる情報発信や安否確認を行っています。今は民間のサービスを利用していますが、今後は市や会津大学、地域の事業者などと連携しながら、高齢の人にも使いやすい会津発の仕組みができるといいですね。

自主防災で、救える命を救いたい



旧年貢町町内会 区長 青山 孝男さん(右) 会計 渋谷 淳さん(左)

町内会の声

「旧年貢町町内会」の自主防災の取り組み

平常時	災害発生時
<ul style="list-style-type: none"> 災害メールシステムへの登録促進 訓練メールの発信 メールやスマートフォンの使い方教室 町内会の防災マップの作成と配布 イベントの実施によるつながりづくり など 	<ul style="list-style-type: none"> 災害メールの発信 メールシステムでの安否確認 GPSを活用した住民の位置情報確認(事前同意した人のみ) 避難行動要支援者名簿に基づいた避難支援や救助活動 など



町内会役員の皆さんが登録者に向けて、定期的に防災訓練メールを発信し、災害に備えています

「旧年貢町町内会」の自主防災の取り組みを紹介

電子メールによる情報発信や安否確認「旧年貢町町内会」では、地震や洪水などの発生時にスムーズな避難誘導ができるよう、メール配信サービスを活用した町内会独自の仕組みづくりをしています。メールリングリストには現在約70人が登録していて、災害時に迅速に対応できるように、月に1回、訓練メールの配信を行っています。返信時に、位置情報を登録してもらうことで、安否確認だけでなく、現在地も確認することができ、必要な時にすぐに駆けつけられるようにしています。

また、登録操作の説明会を開催したり、町内会のチラシに登録用QRコードを添付したりするなど、多くの人に登録してもらえよう継続的に取り組みを進めています。